

2 荷軽部集落（久慈市）

（1）活動のポイント

- 荷軽部集落では、「荷軽部部落民憲章」を策定し、集落の将来像を共有しているほか、自治会と青年会が連携して懇親会や収穫祭などの地域行事を積極的に行っているなど、「和と連帯」をモットーに、世代間交流が盛んに行われている。
また、昭和 47 年から集落の活動や地域での出来事を発信する地域新聞「荷軽部タイムス」を年 4 回発行し、集落全戸に配布するなど、集落の一体感の醸成に取り組んでいる。
- 青年会の有志により、平成 22 年に地域づくり団体「久慈まめぶ部屋」を結成し、郷土料理「まめぶ」による地域活性化や、地域の子どもたちへの伝承活動を精力的に行っている。
また、集落ではグリーン・ツーリズムの推進にも取り組んでおり、まめぶ作りや炭焼き体験など、地域資源を活用した体験メニューを提供することで、国内外から観光客が訪れている。
- 青年会が中心となり、集落内の草刈やゴミ拾い等の環境保全活動を行っており、このような地域住民が共同で取り組む活動を通じて集落の結束力を高めている。
また、ほうれんそう、短角牛等の農畜産物や製炭業が盛んな地域であり、これら生産物をお祭りやイベントで提供するなど、地域の特色を生かした活動が行われている。

（2）取組に係る総評

① 評価した点

集落では盛んに話し合いが行われ、農道の保全などの共同活動が実施されているほか、自治会や青年会が開催するイベント等を通じ、女性や子どもが参画した取組を実施している点、「久慈まめぶ部屋」設立による郷土料理の普及・継承や、地域の特色を生かしたグリーン・ツーリズム受入によって国内外から観光客を誘致し、地域の活性化に寄与している点を評価。

② いわて中山間賞授与の可否

可

「いわて中山間賞授与要領」第 6 で定めた以下の 3 つの「選考の基準」を満たしており、他地域のモデルとなる取組と認められる。

- (1) 集落等の話し合いを通じて、将来の目指す姿が共有されていること。
- (2) 農業生産活動を通じ、耕作放棄の防止等の活動や水路・農道の管理などが行われていること。
- (3) 集落等において、女性や若者の参画等による地域の個性を活かした活性化の取組が行われていること。

【現地調査の写真】

